

2025年1月14日

損害保険ジャパン株式会社

SOMPOリスクマネジメント株式会社

SOMPOビジネスソリューションズ株式会社

株式会社プライムアシスタンス

長野県塩尻市で自動運転レベル4「特定自動運行」における緊急時体制構築を支援

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：石川 耕治、以下「損保ジャパン」）、SOMPOリスクマネジメント株式会社（代表取締役社長：中嶋 陽二、以下「SOMPOリスク」）、SOMPOビジネスソリューションズ株式会社（代表取締役社長：重元 亨太、以下「SOMPOビジネス」）および株式会社プライムアシスタンス（代表取締役社長：大倉 岳、以下「プライムアシスタンス」）は、自動運転の社会実装に向けたソリューション「SOMPO ALCS^{※1}」の提供を通じて、長野県塩尻市（以下「塩尻市」）の自動運転レベル4での特定自動運行^{※2}を支える緊急時体制の構築支援を実施しました。

※1 自動運転サービスの実装を支えることで、社会課題に貢献（移動＝歩く（ALC）をサポート（S））することを目指し、「SOMPO ALCS」と名付けました。Autonomous, Level4, Comprehensive, Support（自動運転レベル4に向けた包括的なサポート）の略語でもあります。

※2 「レベル4」に相当する、運転者がいない状態での自動運転のことをいいます。

参考：警察庁「特定自動運行の定義について」

https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/council/jidounten/r4_1_sankoshiryo1.pdf

1. 背景・目的

自動運転技術は、交通事故の削減や高齢化に伴う運転免許証の自主返納者の増加、地方公共交通機関におけるドライバー不足、CO2排出削減など、さまざまな社会課題を解決するソリューションとして期待されています。政府もRoad to the L4^{※3}プロジェクトを通じて、2025年度までに国内50か所程度で無人自動運転移動サービスの実現を目指しています。

損保ジャパンは、全国で120回以上の実証実験に参画して得た知見と、SOMPOリスク、SOMPOビジネスおよびプライムアシスタンスのノウハウを活かし、安心・安全な自動運転の社会実装に向けて、2024年4月に「SOMPO ALCS」の提供を開始^{※4}しました。

塩尻市においては、パートナー企業である株式会社ティアフォーおよびアイサンテクノロジー株式会社とともに、2020年から実証実験に参画し、「自動運転リスクアセスメント」や「自動運転専用保険」の提供を通じて、安心・安全な実証実験を支援してきました。

※3 正式名称「自動運転レベル4等先進モビリティサービス研究開発・社会実装プロジェクト」

<https://www.road-to-the-l4.go.jp/>

※4 2024年3月22日「自動運転サービスの社会実装に向けたソリューションの提供開始」

https://www.sompo-japan.co.jp/-/media/SJNK/files/news/2023/20240322_1.pdf?la=ja-JP

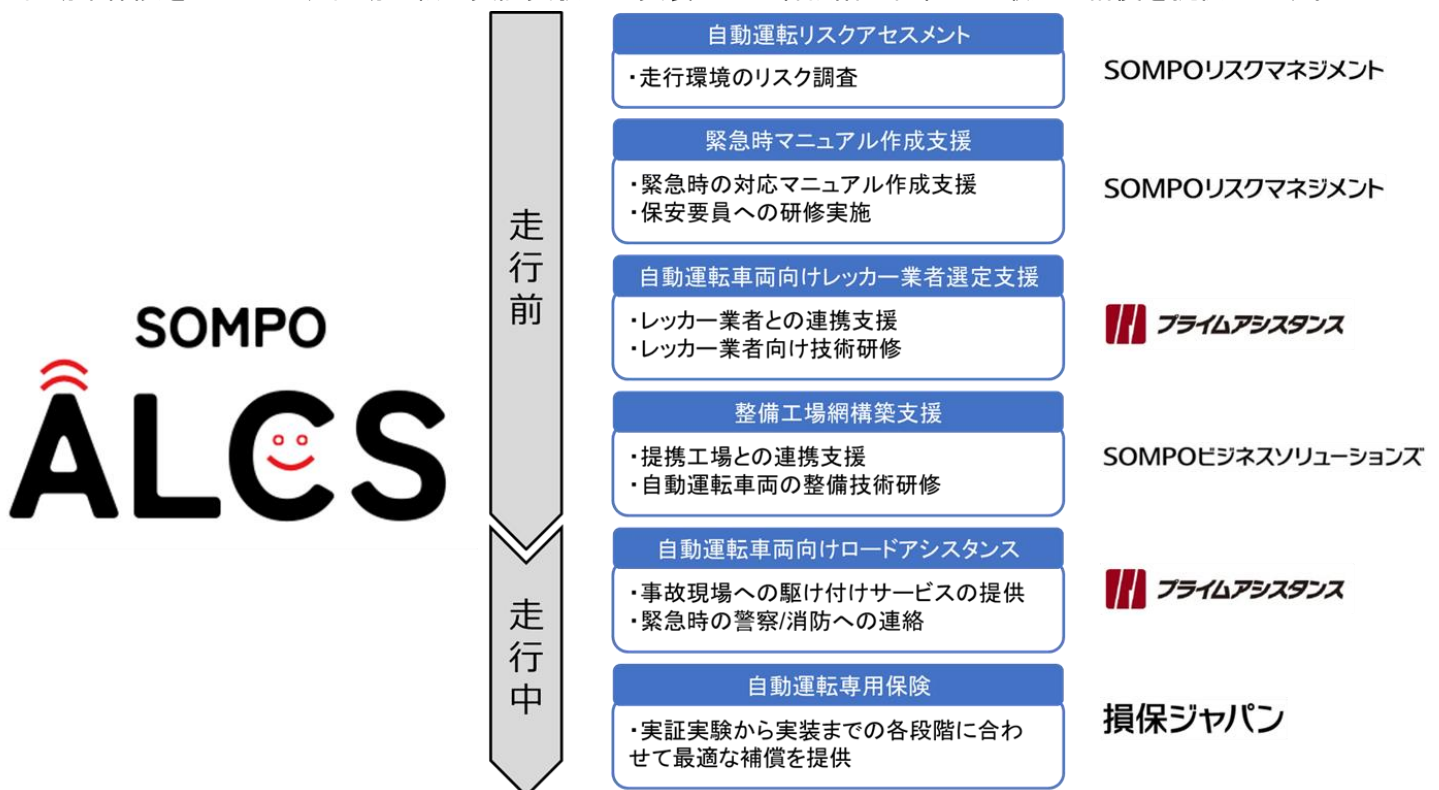
2. 塩尻市への支援概要

損保ジャパンは、自動運転の社会実装を検討している自治体や自動運転の走行に関連する事業者に対し、自動運転の走行前から走行中までに必要となるソリューションをパッケージ化した「SOMPO ALCS」を提供しています。

塩尻市での特定自動運行の実施にあたり、これまで提供してきた「自動運転リスクアセスメント」「自動運転専用保険」に、「緊急時マニュアル作成支援」「自動運転車両向けレッカー業者選定支援」「整備工場網構築支援」を加えた「SOMPO ALCS」の提供を通じて緊急時の体制構築を支援することで、塩尻市における自動運転レベル4での特定自動運行の実現に貢献しました。

(サービス概要)

- 自動運転リスクアセスメント（提供者：SOMPOリスク）
自動運転の実証実験や社会実装を計画する走行環境のリスク評価を行い、リスクアセスメントレポートを作成します。関係各所と協議することで、安心・安全な実証実験を支援し、社会実装を進めます。
- 緊急時マニュアル作成支援（提供者：SOMPOリスク）
自動運転車両に事故やトラブルが発生した際に備える対応マニュアルの作成を支援し、特定自動運行に対して必要な研修を実施します。
- 自動運転車両向けレッカー業者選定支援（提供者：プライムアシスタンス）
自動運転の社会実装を検討している地域のレッカー業者の選定を支援し、特殊車両である自動運転車両をレッカーけん引するための技術研修を実施します。
※当サービスは実証実験による参画となり、サービス提供は監督官庁の承認後となります。
- 整備工場網構築支援（提供者：SOMPOビジネス）
自動運転の社会実装を検討している地域の整備工場との連携を支援し、特殊車両である自動運転車両の整備に必要な技術研修を実施します。
- 自動運転車両向けロードアシスタンス（提供者：プライムアシスタンス）
自動運転車両の搬送、警備業者等の現場への駆け付け依頼、緊急時の警察や消防への連絡など、初動対応のサポートを提供します。
※一部サービスについては、検討中です。
- 自動運転専用保険（提供者：損保ジャパン）
自動車保険をベースに、自動運転の実証実験から実装までの各段階に合わせた最適な補償を提供します。





(レッカー事業者/整備事業者向け研修の実施風景)

3. 塩尻市における具体的な役割

事業者名	役割
損保ジャパン	「SOMPO ALCS」全体統括、自動運転専用保険の提供
SOMPOリスク	走行環境のリスクアセスメント、緊急時マニュアル作成支援
SOMPOビジネス	整備工場への研修、特定整備工場認証（自動運行装置含む）に向けた申請・取得支援
プライムアシスタンス	レッカー事業者向け自動運転EV車両のレッカー研修

4. 塩尻市自動運転プロジェクト推進担当者（塩尻市商工観光部 先端産業振興室 百瀬 亮氏）のコメント

塩尻市では「次世代交通がもたらす安心して便利に暮らせる地域社会の実現」を目指し、2020年度から自動運転サービスの導入検討と実証走行を進めてきました。損保ジャパンからは実証走行における「自動運転リスクアセスメント」や、2023年度一般財団法人塩尻市振興公社で購入した自動運転EVバス「Minibus」に対する「自動運転専用保険」を提供いただき、実証実験を安全に行うために支援いただいています。

2024度は特定自動運行の実施に必要な「緊急時マニュアル作成支援」「自動運転車両向けレッカー業者選定支援」「整備工場網構築支援」に関し、現地対応を含めさらなる支援をいただいたことで、塩尻市における特定自動運行が実現しました。

今後もこの取組みをきっかけに安心・安全な自動運転の社会実装が全国に広がり、自家用車以外の交通手段の確保や交通事故減少、地域活性化による地域公共交通の維持につながることを期待しています。

5. 今後について

2025年から全国各地での自動運転の社会実装が見込まれています。SOMPOグループは、「SOMPO ALCS」の提供を通じて、持続可能なモビリティ社会の実現と自動運転社会の発展に貢献していきます。

以上